

## 数値地質図標準化: 地質用語集素案の意義と利用

## Meaning and use of geological features glossary rough draft

# 西岡 芳晴 [1]

# Yoshiharu Nishioka[1]

[1] 産総研

[1] AIST

近年、地質学的情報を包括的に提供する図として地質図の需要が大きくなっており、その標準化が急務となってきた。産業技術総合研究所(産総研)はこれまで数値地質図の標準化へ向けて取り組んできており、その一環として昨年12月に地質用語集の素案を作成、研究資料集として公開した(JIS「地質用語集」原案の作成研究グループ, 2008)。筆者は、その作成グループの一員としてこの地質用語集の内容を紹介し、その意義について考察する。

本地質用語集は、地質図の標準化のため産総研が提案予定である標準仕様書(TS)「地質図-地質用語」の最初の素案として、平成18~19年度に作成したものである。JIS A 0204: 2008(日本規格協会, 2008a)ならびにJIS A 0205: 2008(日本規格協会, 2008b)で用いられている用語をはじめとする地質用語2,066語を15種類に分類し、100字程度の説明文を付けた。これらの用語の選定は、地質図の表現において必要な概念を網羅しているのみならず、可能なかぎり汎用性、国際性を重視して行われた。

この地質用語集の作成により、これまでの2つのJIS(A0204, A0205)の基盤となるTS地質用語の基礎資料ができたといえる。これまでの2つのJISは、地質図の描画表現、デジタル表現を規定したものであったが、今回の地質用語集はそのセマンティックな意味づけを行うものと期待できる。これにより、今後の地質オントロジーの整備、セマンティックWeb構築への土台が提供されたと言える。

## 引用文献

JIS「地質用語集」原案の作成研究グループ(2008)地質図-地質用語(TS素案:2008)。地質調査総合センター研究資料集, no. 486, CD-ROM 1枚, 産業技術総合研究所地質調査総合センター。

日本規格協会(2008a)JIS A 0204:2008「地質図-記号, 色, 模様, 用語及び凡例表示」。日本規格協会, 98p

日本規格協会(2008b)JIS A 0205:2008「ベクトル数値地質図-品質要求事項及び主題属性コード」。日本規格協会, 142p